

平成 2 8 年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
(平成 2 7 年度事業対象)

美里町教育委員会

— 目 次 —

I	美里町教育委員会事務事業評価の基本方針	・ ・ ・ ・ ・	1 ～ 2
II	教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・	3 ～ 5
III	点検・評価の結果		
	【学校教育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	6
1	学力向上支援事業	・ ・ ・ ・ ・	7
2	特別支援員・学習支援員事業	・ ・ ・ ・ ・	8
3	心の教室、子どもと親の相談事業	・ ・ ・ ・ ・	9
4	学校図書館図書業務支援事業	・ ・ ・ ・ ・	10
5	地域学校保健委員会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	11
6	学校部活動補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	12
7	小学校外国語指導事業	・ ・ ・ ・ ・	13
8	集団宿泊教室事業	・ ・ ・ ・ ・	14
9	芸術鑑賞補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	15
10	学校施設整備事業	・ ・ ・ ・ ・	16
	【社会教育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	17
11	美里町人権教育推進協議会補助金	・ ・ ・ ・ ・	18
12	美里町青少年育成町民会議補助金	・ ・ ・ ・ ・	19
13	美里町文化協会補助金	・ ・ ・ ・ ・	20
14	文集みさとの発行	・ ・ ・ ・ ・	21
	【社会体育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	22
15	美里町ナイター陸上記録会	・ ・ ・ ・ ・	23
16	美里町中学校野球美里大会	・ ・ ・ ・ ・	24
17	町民体育祭	・ ・ ・ ・ ・	25
18	美里町駅伝競走大会	・ ・ ・ ・ ・	26
19	美里町新春霊台橋マラソン大会	・ ・ ・ ・ ・	27
20	宇城中学校新人駅伝大会	・ ・ ・ ・ ・	28

美里町教育委員会事務事業評価の基本方針

1. 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっております。

このようなことから、本町教育委員会でも効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、外部評価委員会による教育委員会所管の事務事業の点検を行いました。

2. 点検・評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 成果を重視した行政運営を行うため、事後評価を基本とする。
- (2) 評価の客観性、透明性を確保するため外部評価を行う。
- (3) 評価の対象・方法は、毎年度見直しを行う。

3. 点検・評価の対象

(1) 教育委員会の活動状況

- ① 定例及び臨時教育委員会の会議状況
- ② その他の活動状況

(2) 教育委員会の所管する事務事業

教育委員会が所管する事務事業について教育委員会事務局で協議し、教育委員会で選定する。

4. 点検・評価の手順

- (1) 教育委員及び教育委員会事務局による自己評価
- (2) 外部評価委員による評価
- (3) 報告書の作成
- (4) 教育委員会で報告書の作成
- (5) 議会への提出及び公表

5. 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定により有識者の知見の活用については、点検・評価（自己評価）の結果については、学識経験者を含む5名の外部評価委員に、対象事業についてのご意見をいただきました。

外部評価委員名簿

日 方 和 義	村 上 敬 徳	屋 形 康 廣
佐 藤 康 裕	福 永 良 子	

6. 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会として今後の方向性を下記5つの中から選択しました。

拡 充	事業規模・内容をより拡大・充実し継続すべき事務事業
維 持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
縮 小	現在の方向性でよいが、事務規模については縮小方向で改善していくべき事務事業
改 善	現在の方向性から見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
完 了	完了した事務事業

(参考)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 教育委員会議の開催状況

1 教育委員会議

美里町教育委員会の会議は、毎月 1 回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、5 名の教育委員（教育長 1 名を含む）が教育行政の基本方針や教育委員会の規則等の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から説明を受けています。

平成 27 年度の教育委員会議の開催状況は次のとおりです。

期 日	場 所	議 決 事 項 等
平成 27 年 4 月 21 日 (定例会)	中央庁舎 第 2 会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の制定について ・美里町立小中学校の主任等の任命について ・美里町立低用小学校評議員の委嘱について ・平成 27 年度美里町学校教育取り組みの方向について（協議） ・平成 27 年度美里町社会教育取り組みの方向について（協議）
平成 27 年 5 月 27 日 (定例会)	中央庁舎 第 2 会議室	・美里町指定文化財の廃止について ・美里町小学校運動部活動社会体育移行検討委員会設置要綱の制定について ・美里町社会教育委員の委嘱について ・美里町公民館運営協議会委員の委嘱について
平成 27 年 6 月 22 日 (定例会)	中央庁舎 第 2 会議室	・美里町小中学校通学費補助金交付要綱について（報告）
平成 27 年 7 月 22 日 (定例会)	中央庁舎 第 2 会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・第 1 回美里町教育振興計画推進委員会議について（報告） ・教育審議員の 1 学期の実績について（報告）
平成 27 年 8 月 11 日 (臨時会)	中央庁舎 第 2 会議室	・平成 28 年度使用中学校教科用図書の採択について

平成 27 年 8 月 24 日 (定例会)	中央庁舎 第 2 会議室	・ 美里町小中学校通学費補助金交付要綱の一部を 改正する要綱の制定について
平成 27 年 9 月 25 日 (定例会)	中央庁舎 第 2 会議室	・ 美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の 認定について ・ 美里町就学指導委員会における就学答申について
平成 27 年 10 月 26 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	議決事項なし ・ 諸報告
平成 27 年 11 月 25 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・ 美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の 認定について ・ 美里町就学指導委員会における就学答申について ・ 美里町学校規模適正化審議会「建議書」について ・ 美里町教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価の結果報告書について
平成 27 年 12 月 22 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・ 美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の 認定について ・ 美里町教育委員長の選挙について ・ 美里町教育委員長職務代理者について ・ 美里町学校規模適正化に係る町教育委員会の「意 見書」について（協議）
平成 28 年 1 月 28 日 (定例会)	中央庁舎 第 2 会議室	・ 専決処分事項（平成 27 年度就学指導委員会にお ける就学答申）の報告及び承認を求めることにつ いて
平成 28 年 2 月 22 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	議決事項なし ・ 諸報告
平成 28 年 2 月 27 日 (臨時会)		・ 平成 28 年度教職員人事異動について

平成 28 年 3 月 17 日 (定例会)	中央庁舎 第 1 会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町奨学資金貸付認定について ・美里町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の制定について ・美里町立小中学校評議員の委嘱について
------------------------------	-----------------	---

2 その他の活動状況

平成 27 年度における、その他主な活動は次のとおりです。

- ・熊本市町村教育委員大会
- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・各小中学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各小学校運動会、各中学校体育大会、文化祭（学習発表会）
- ・町成人式典
- ・美里町文化祭
- ・町民体育祭他各種イベント事業への出席

美里町教育委員会委員名簿

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

職 名	氏 名	任 期
委 員 長	高 田 幸 也	平成 27 年 12 月 23 日～平成 31 年 12 月 22 日
委員長職務代理者	船 原 千 廣	平成 24 年 12 月 23 日～平成 28 年 12 月 22 日
委 員	松 本 富美代	平成 25 年 12 月 23 日～平成 29 年 12 月 22 日
委 員	早津田 直 子	平成 26 年 12 月 23 日～平成 30 年 12 月 22 日
教 育 長	吉 永 公 力	平成 24 年 12 月 23 日～平成 28 年 12 月 22 日

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	学校教育係	学力向上支援事業	児童・生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする。	2,448,000
2	学校教育係	学習支援員事業	特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった子どもたちに、学級の担任と協力し学習支援を行う。	15,868,800
3	学校教育係	心の教室、子どもと親の相談事業	悩みや不安を抱える児童・生徒・保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。	1,627,000
4	学校教育係	学校図書館図書業務支援事業	各学校図書館の業務支援のため、図書司書補等を配置し、児童・生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。	6,360,000
5	学校教育係	地域学校保健委員会補助金事業	学校、地域、家庭の連携のもと、子どもの健康な生活と教育の推進を図るため、中学校区で委員会を設置し活動する。	60,848
6	学校教育係	学校部活動補助金事業	児童・生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。	918,000
7	学校教育係	小学校外国語指導事業	児童が英語に接し、低学年から英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。	2,715,536
8	学校教育係	集団宿泊教室事業	児童・生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。	433,275
9	学校教育係	芸術鑑賞補助金事業	演劇を鑑賞することによって、心身の調和のとれた発達と人間としての生き方について自覚を深める事業に補助する。	361,000
10	学校教育係	学校施設整備事業	計画的に学校の維持補修等を行うことで、児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境を整備する。また、地域住民の安全と安心の確保に努める。	77,477,013

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学力向上支援事業	担当課	教育課 学校教育係
事業目的	・児童・生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする		
活動内容	・教育審議員による定期的な授業改善指導訪問(授業者48名に対して延べ133回) ・教育委員会学校訪問における学校との打ち合わせ及び訪問時の全体会での指導助言 ・美里町教育大綱及び美里町教育委員会グランドデザインの策定 ・美里町教育の取組の方向、学力向上アクションプランの策定 ・教育委員会議、校長会議での学力充実等の説明 ・美里町学力向上推進委員会の取組の充実(全体会、授業改善研修会) ・「教育美里」の発行(授業改善や教育動向の啓発、教育課題や教育資料の紹介、全国学力・学習状況調査や県学力調査結果との分析・考察等 第67号～78号発行) ・中央校区保小中連携実践研究への助言と支援 ・学校の校内研修での指導助言 ・家庭への啓発資料(学習習慣の確立等)の作成・配布		
予算額 決算額	予算額 2,448,000 円	決算額 2,448,000 円	
担当課 自己評価	美里町教育振興計画及び教育大綱に基づき、「美里町教育委員会グランドデザイン」を策定し、「学校教育取組の方向」及び「学力向上アクションプラン」を設定し、学力向上支援に取り組んだ。全国学力・学習状況調査では、小学校は課題があったが、中学校の平均正答率はすべての種目で全国平均を3～11%上回った。県学力調査では、各教科を総合した定着率では、小中学校とも県平均を上回った。特に、小学校では前々年度から県平均に届かなかったが、平成27年度は全体として県平均を上回ることができた。中央校区は、前年度から美里町が研究を委嘱して、「小中連携実践研究事業」に取り組み、平成27年度に実践発表会を開催した。また、平成27年度からは、「幼・保等、小、中連携実践研究事業」として、熊本県教育委員会の指定を受け、学びのつながりを目指して、就学前教育との連携の充実も図られている。学力向上については、本町の大きな教育課題であり、引き続き教師の指導力や資質の向上を図りながら、課題解決に向けて取り組む必要がある。		

(外部評価委員の意見)	
・各学校長並びに職員、そして教育審議員を中心として計画通りに取り組みがなされている。 ・指導力向上のための支援事業として、より良きアドバイスが出来ており児童生徒への学力向上につながっている。先生方たちも子供たちの能力を引き出す指導が出来ると思う。 ・学力向上のために様々な取り組みがされており、県学力調査の結果を見てもその成果が表れていると思う。引き続き指導力向上を目指してもらいたい。 また、保護者向けに発行されている「家庭学習のすすめ」は、情報提供としてとても良いと思う。 ・教育審議員の活動状況を見たとき、待遇面でもっと評価すべきである。 ・子供たちの学力向上が見える中、今後も学習習慣や生活習慣、学校における指導方法や教育条件の整備等、学力との相関関係を分析し、さらなる学力向上への質的改善を図っていかれることを期待する。	

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学習支援員事業	担当課	教育課 学校教育係
事業目的	・特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童・生徒に対し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を、学級担任と協力して学習支援を行い自立できるよう支援する。		
活動内容	・町内5校の小・中学校において、非常勤職員を8名を配置し、特別支援学級(砥用小2学級・中央小2学級・砥用中1学級・中央中1学級)や通常学級で学級担任と協力し、取り出し指導等を行う。		
予算額 決算額	予算額 15,869,000 円	決算額 15,868,800 円	
担当課 自己評価	・担任以外に非常勤職員を配置することにより、発達障がいを含む障がいのある児童・生徒や特別な配慮を必要とする児童・生徒に対して、よりきめ細かな適切な教育的支援を図ることで児童・生徒の自立に繋がっている。		

(外部評価委員の意見) ・一人一人の子ども達や、各家庭の保護者に目を向けながら取り組んで行くことが大切と思われる。今後とも維持が望まれる。 ・非常勤職員の協力により学級担任の細やかな配慮が出来、児童生徒の個性を引出し、子供の自立にもつながると思う。 ・支援員を手厚く配置してあるのは評価できる。今後も、個々の自立支援に向けた取り組みを継続していただきたい。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	心の教室、子どもと親の相談事業	担当課	教育課 学校教育係
事業目的	・悩みや不安を抱える児童・生徒・保護者に対し、就学することができる教育環境を整え気軽に相談できる環境づくりに努める。		
活動内容	・小学校2校(砥用小、中央小)、中学校2校にそれぞれ1名を配置し、人間関係や生活習慣等に悩みや不安を抱える児童・生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努めた。 ・児童・生徒の課題解決のための研修会を実施した。		
予算額 決算額	予算額 1,630,000 円	決算額 1,627,000 円	
担当課 自己評価	・悩みや不安を抱える児童・生徒・保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努め、児童・生徒・保護者と連携強化を図ったことで、悩みや不安の軽減あるいは解消につながっている。		

(外部評価委員の意見)

- ・直接担当される職員の活動が大切である。綿密な記録は大切であるし、担任や他の職員との常日頃から情報の共有が大切と思われる。
- ・年々児童生徒の悩み不安は、増加してきているので、誰もがいつでも相談できる体制づくりが必要であると思う。
- ・親と子どもに寄り添い相談されており、特にいじめについては、「見抜いて」いじめが起きないように望む。
- ・子供への対応が適切に果たせるように、スタッフの定期的な研究会や学校と家庭、関係機関との連携を図っていくことも不可欠と考える。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校図書館図書業務支援事業	担当課	教育課 学校教育係
事業目的	・各小・中学校図書館の業務支援のため、図書司書補等を配置し、児童・生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。		
活動内容	・各小・中学校図書館へ非常勤の学校図書司書(各学校1名で計5名)を配置し、学校図書館の整理や子ども達の図書利用の拡大を図る為の年間取組計画の作成や、図書活動支援を行っている。 ・学校司書の資質向上を図る為の研修会を実施した。 ・他の市町教育委員会からの視察研修対応。		
予算額 決算額	予算額 6,360,000 円	決算額 6,360,000 円	
担当課 自己評価	・学校図書館の司書業務は、児童生徒の読書活動支援に不可欠であり、主体的学習を援助し、図書館の整理、保管に必要な業務である。 ・また、職員自身も司書資格を新たに取得するなど自己研鑽をはかり、現在司書2名、司書補1名となり、図書利用をさらに進める体制が確立している。 ・図書活動支援が盛んなため、外部からの視察研修が増えている。		

(外部評価委員の意見)

- ・各学校の取り組みが良好である。現状の維持が望まれる。
- ・蔵書数の増加とともに新しい書籍の受け入れも必要であり、司書のこれまで以上の図書館利用促進への取り組みが必要であると思う。
- ・外部から視察に来られるほどの図書館が町内にあるので、そこを中心に児童生徒にとって魅力ある図書館を作り上げていただきたい。
- ・文字に親しむ機会を確保し、日本語が正しく使えるように援助してほしい。
- ・視察研修の増加から、学校図書館資料の選択、収集、提供や子どもの読書活動の指導等、読書センターとしての機能を十分発揮しているように思う。今後は、公共図書館の活用や子どもたちがさらに本を好きになる環境整備を期待する。

教育委員会 としての今後の 方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-------------------------	---

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域学校保健委員会補助金事業	担当課	教育課 学校教育係
事業目的	・学校、地域、家庭の連携のもと、児童・生徒の健康な生活と教育の推進を図るため、中学校区で委員会を設置する。		
活動内容	・中学校区で地域学校保健委員会を設置、学校、地域、家庭の連携のもと、児童・生徒の健康な生活と教育の推進を図る。 砥用地区：70名 中央地区：22名 両地区合同で教育講演会を開催。 中央地区において、委員会内下部組織に保小中連携部会を創設。また、保健委員会の通称を「はぐくみ」委員会とした。		
予算額 決算額	予算額 65,000 円	決算額 砥用地区 中央地区	 40,500 円 20,348 円
担当課 自己評価	・地域内の学校保健に関する問題点の解明に関係機関との連携を密にし、児童生徒の豊かな健康生活の向上に寄与している。		

(外部評価委員の意見)

- ・町全体としての取り組みが望まれる。維持される内容である。
- ・地域性もあり、合同は難しいということで、新たに中央地区でも会が発足されました。これからは、お互いのより良きところを学び学校・地域・家庭の連携を図ることが出来ると思う。
- ・学校と地域が一体となって、児童生徒の健康生活の向上を目指すためには必要な事業だと思う。
- ・健やかな心身育成のために継続してほしい。
- ・子どもたちの心身の状況を把握し本人や保護者に指導、助言したり、食育の推進を実践する上でこの事業は大切と思いますが、両地区合同の新委員会の立ち上げも、そろそろいい時期ではないかと考える。

教育委員会 としての今後の 方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ <u>改 善</u> ・ 完 了
-------------------------	------------------------------------

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校部活動補助金事業	担当課	教育課 学校教育係
事業目的	・児童・生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。		
活動内容	・砥用小(2部) 54,000円補助 総合運動部①25人、総合運動部②29人 ・励徳小(2部) 54,000円補助 男子総合運動部20人、女子総合運動部13人 ・中央小(2部) 54,000円補助 男子総合運動部32人、女子総合運動部28人 ・砥用中(6部) 378,000円補助 野球部20人、サッカー部19人、柔道部16人、剣道部21人、陸上部28人、バレー部28人 ・中央中(6部) 378,000円補助 野球部13人、テニス部23人、サッカー部11人、バレー部16人、文化部16人、陸上部12人		
予算額 決算額	予算額 1,062,000 円	決算額 918,000 円	
担当課 自己評価	・部活動をととして、体力の向上と技能の習熟を図るとともに、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力を育むため必要であり、保護者の経済的負担軽減につながっている。		

(外部評価委員の意見)

- ・部活動についての抜本的変革期である。町全体で取り組むと同時に他の地域との連携が必要であると思われる。
- ・人数の減少もあると思うが、補助が下がったとしても保護者の負担の軽減につながっていると思われる。
- ・部活動での体力向上や保護者の経済的負担軽減の意味から必要と思う。小学校では完全社会体育移行になった場合の受け皿を。
- ・小規模校で部活動の存続自体が難しい現実であるが、総合運動部が子どもたちにとって楽しく充実した時間となるような事業の取り組みをお願いしたい。

教育委員会 としての今後の 方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-------------------------	------------------------------------

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	小学校外国語指導事業	担当課	教育課 学校教育係
事業目的	・低学年のうちから英語に接し、英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。		
活動内容	・小学校の1年生から4年生を対象に、非常勤の外国語指導助手2名を配置する。(1名は学習支援員を兼任。)担任と協力し、楽しく基本的な英語活動を行う中で、コミュニケーション能力の育成を図る。また、5・6年生に関しては、外国語指導助手が担任の助手として授業に参加し、学習指導要領に定められた外国語活動を行うことで、外国語の発音や基本的な表現に慣れ親しませながら、中学校英語教育の素地を養う。		
予算額 決算額	予算額 2,833,000 円	決算額 2,715,536 円	
担当課 自己評価	・英語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っている。		

(外部評価委員の意見)	
・英語に対する子ども達の意欲に差が見られると思われる。楽しい英語の授業であってほしいと思われる。維持が適当と思われる。 ・幼い頃より外国語の発音等に親しむことにより、子供が気軽に楽しめる空間を作ることが出来ると思う。 ・低学年の頃から英語に慣れ親しむ事はとても大事な事だと思う。中学校へ行ってから苦手意識が出ないような指導をお願いしたい。 ・指導等も大変でしょうが、子どもが敬遠しないように楽しく学習できるような工夫を望む。 ・グローバル化が進展しており、学校教育においても子供たちが、そのような世界で生きていくために必要な力を育成する必要性を強く認識している。今後このような文化的多様性を、学校教育全体において活用する視点が重要と考える。	

教育委員会 としての今後の 方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-------------------------	------------------------------------

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	集団宿泊教室事業	担当課	教育課 学校教育係
事業目的	・児童・生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。		
活動内容	・中学校1年生、小学校5年生を対象に少年自然の家等を利用し、集団生活を通して基本的な行動様式の定着を図るとともに、野外活動を通して心身の鍛錬を行う。 砥用小学校：豊野少年自然の家 励徳小学校：豊野少年自然の家 中央小学校：あしきた青少年の家 砥用中学校：豊野少年自然の家 中央中学校：豊野少年自然の家（町内施設で石段のぼりを実施） 町補助にて事業実施一部学級費を使用		
予算額 決算額	予算額 小学校 222,000 円 中学校 258,000 円	決算額 小学校 210,260 円 中学校 223,015 円	
担当課 自己評価	・集団生活を通して基本的な行動様式が図られている。		

（外部評価委員の意見） ・利用施設との十分な事前検討会が大切と思われる。今後も維持される内容と思われる。 ・集団生活をするにより個々人の協調性が引き出され、家庭外、校外活動で心身の鍛錬とともに自立を図ることが出来ると思う。 ・集団生活をする事で、得るものは大きいと思う。心身の鍛錬の場として今後も継続していただきたい。 ・心身共に鍛えることで、成長していくと思われるので続けてほしい。 ・体験活動の場マンネリ化しないよう、計画的・体系的に工夫改善を図っていくことが、充実した教育支援活動を可能にすると思う。	
--	--

教育委員会 としての今後の 方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-------------------------	------------------------------------

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	芸術鑑賞補助金事業	担当課	教育課 学校教育係
事業目的	・演劇を鑑賞することにより、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を構築する自主的、実践的な態度を育てるとともに自己を生かす能力を養う。		
活動内容	・小中学校で実施する演劇鑑賞の事業に対して経費の補助を行う。 砥用小学校：NPO法人日本国際童謡館 （いきいき芸術体験事業：県委託事業） 励徳小学校：劇団きらら（いきいき芸術体験事業：県委託事業） 中央小学校：陸上自衛隊音楽隊 砥用中学校：劇団「民話芸術座」 中央中学校：劇団「天然木」・家族ミュージカル		
予算額 決算額	予算額 687,000 円	決算額 361,000 円	
担当課 自己評価	・小中学校で実施する演劇、音楽鑑賞等の優秀な文化・芸術に親しみ、また、触れる機会を提供し、感性や教養、「豊かな心」の育成につながっている。		

（外部評価委員の意見） ・児童生徒が、様々な芸術鑑賞をすることにより個々人の興味と個性を伸ばし教養を高めることが出来ると思う。 ・芸術に親しむ事で、その場での感動や感激が豊かな心を作ると思う。今後も継続していただきたい。 ・芸能に親しんで、「豊かな心」の育成につながるので継続してほしい。 ・子どもたちが、将来に向かってのチャレンジ精神が育つような計画と推進をお願いしたい。また、保護者の要望や参画、地域のニーズを取り入れた計画等の必要性も感じる。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校施設整備事業	担当課	教育課 学校教育係
事業目的	・建設後20年を経過する校舎や屋内運動場等もあり、安全面をはじめ環境衛生面、地域の避難施設等の観点から施設の維持補修や改修工事を計画的に実施し、適切な維持管理に努める。		
活動内容	砥用小学校:屋内運動場カーテン改修工事、固定遊具設置工事 励徳小学校:給食調理室トイレ改修工事 中央小学校:プール等改修工事、校舎階段手すり設置工事 砥用中学校:屋体施設改修工事(非構造部材の耐震化事業) 中央中学校:自転車置き場改修工事、プール目洗い・シャワー改修工事		
予算額 決算額	予算額 小学校 27,910,000 円 中学校 49,600,914 円	決算額 小学校 27,880,025 円 中学校 49,596,988 円	
担当課 自己評価	学校施設は、児童生徒等の学習・生活の場であり、公教育を支える基本的施設であるとともに、地域住民にとっては、身近な公共施設として、また、災害発生時の避難場所ともなる施設として重要な役割を担っている 計画的に学校の維持補修等を行うことで、児童生徒等の安全を守り、安心で豊かな教育環境が整備できている。また、地域住民の安全と安心の確保に繋がった。		

(外部評価委員の意見) ・町として計画的な取り組みが必要と思われる。本年は熊本地震が発生し、より早急な復旧が望まれる。維持していくべき内容である。 ・この事業については、児童生徒の安全な学業の場であり、また非常時には住民の避難場所としても使用される所なので、老朽化・耐震化も含めて継続して整備をしていく必要があると思う。 ・子どもたちの安全安心な場として、改修工事は必要である。 ・施設の改修により、安全と安心が確保できとても良かった。 ・学校施設が地域避難所として位置づけられていることを考えると、学校が本来果たすべき役割を担いながら、地域の避難所として機能するための行政との役割の明確化をしておく必要性を感じる。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会教育係	美里町人権教育推進協議会補助金	美里町人権教育推進協議会の活動補助金	100,000
2	社会教育係	美里町青少年育成町民会議補助金	美里町青少年育成町民会議の活動補助金	256,000
3	社会教育係	美里町文化協会補助金	美里町文化協会の活動補助金	325,000
4	社会教育係	文集みさとの発刊	郷土史、ふるさとよもやま噺、随筆・随想、詩、短歌、俳句、肥後狂句、読書感想文	667,476

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	美里町人権教育推進協議会補助金	担当課	教育課 社会教育係
事業目的	町内における人権教育の推進を図ることを目的とする。		
活動内容	人権教育の研究と実践及び各種研修会の開催と各種研修会への派遣。 人権教育の研究と実践については、平成27年6月の総会時に研修会としてしDVD視聴を行った。 各種研究会への派遣については、平成27年8月の第42回宇城地区人権教育研究大会への参加要請を行った。 各種研修会の開催については、平成28年2月に行政職員を対象とした人権教育研修会を開催した。		
予算額 決算額	100,000 円	決算額	100,000 円
担当課 自己評価	総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を補助金が占めており、補助金については現状維持が望ましい。 H26 予算額70,000円 → H27 予算額 100,000円 また、行政職員を対象とした人権研修会でのアンケート内容を踏まえ、人権教育に必要な研修内容を計画したい。		

(外部評価委員の意見) ・全ての差別をなくすため人権教育は必要である。維持していくべき内容である。 ・町民の全ての人に人権教育を広く伝えていく必要がある。研修会への参加者が、固定化されてきているように思われる。 ・人権教育研修は今後も継続して行く事業だと思う。 ・行政職員を対象としたアンケートにもとづいて、研修テーマを設定し、実行してほしい。 ・家庭や地域の力を発揮できるよう、系統的、継続的に人権教育の推進をお願いしたい。学校内外での人権の整備もさらに必要と感じている。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	美里町青少年育成町民会議補助金	担当課	教育課 社会教育係
事業目的	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る。		
活動内容	補導部会と育成部会に分けて活動を行っており、補導部会は毎月1回の巡回指導とふるさと祭り、やまびこ祭りの巡回指導を実施している。また、学校の各学期末には会議を開催して、町内小中学校及び近隣の高等学校の生徒指導の先生と情報交換を行っている。 育成部会については、青少年に自然のすばらしさ、友とのふれ合い・地域の人との交流により、思いやりを持った子どもの育成を図ることを目的として、さくら健康フェスタの共催や町PTA連合会で取り組んでいる子ども110番事業に共催した。		
予算額 決算額	予算額 256,000 円	決算額 256,000 円	
担当課 自己評価	総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も多岐にわたり、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を補助金が占めており補助金については現状維持が望ましい。 また、子ども110番事業については、町PTA連合会と設置個所の情報を共有化し、地域の犯罪予防に努めていきたい。		

(外部評価委員の意見) ・住民に対しても多くの取り組みや呼びかけを知ってもらう必要がある。維持していくべき内容である。 ・補導部会では、児童生徒が犯罪に巻き込まれないように各学校との情報共有により連携し巡回指導されている。また、育成部会では、健康フェスタを実施し地域の人との交流・友とのふれあい・自然とのふれあいを通じて子供の育成に努められていると思う。 ・補導部会の巡回指導は、青少年の非行防止にかなり有効と考える。事業目的達成のために適正に活用されていると思う。 ・学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制をさらに整えられることを期待したい。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	美里町文化協会補助金	担当課	教育課 社会教育係
事業目的	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。		
活動内容	年1回の主催事業の実施と文化祭を開催した。主催事業については七夕コンサートを公演し、約235名の方々が観覧された。 また、主催事業の収入で、町内の小中学生を対象に菊池市で開催された熊本子ども芸術祭に参加し体験事業を行われた。 文化祭については、所属サークル58団体が展示の部、ステージ発表の部に分かれて開催。展示の部については文化の日の1週間前から作品の展示を行い多くの町民が来場した。発表の部については文化の日に開催し、終日賑わった。		
予算額 決算額	予算額 325,000 円	決算額 325,000 円	
担当課 自己評価	総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も多岐にわたり、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を会費・補助金が占めており補助金については現状維持が望ましい。		

(外部評価委員の意見) ・活動が決まった人達に偏る傾向がある。多くの住民にもいかにしたら多く集まってもらえるか検討すべきである。維持していくべき内容である。 ・年一回を楽しみにしておられる方も多いため、多くの方が観覧できる様に工夫を凝らしていただきたい。展示の部・発表の部では、される方、またそれを見に来られる方々です、どちらも楽しめるように、これからも参加者の増、来場者の増につなげていただきたいと思う。 ・多くの事業が開催されており、今後も活発な事業展開を期待する。 ・文化事業は豊かな心の育成につながるもので、継続してほしい。 ・この事業は地域を巻き込んだ、新しい文化振興への発展が期待できる。今後、拡充も視野に検討を願いたい。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	文集みさとの発行	担当課	教育課 社会教育係
事業目的	心豊かな文化の町づくりを願い、小学生から高齢者まで幅広い町民の文化活動を盛り込むことにより、郷土美里の文化向上発展を図る。		
活動内容	文集「みさと」第12号を発刊した。内容は、紀行文、郷土史、ふるさとよもやま噺、随筆・随想、短篇小説、詩、短歌、俳句、肥後狂句、文化協会からの報告、読書感想文、生活作文、人権作文を掲載し投稿者も小学生から高齢者まで幅広いものとなっている。特に今回から、表紙に町読書感想画コンクールで入選された3名の子どもたちの感想画を掲載した。 (予算額 報酬 文集編集委員報酬 72,000円 4名 印刷製本費 600,000円) (決算額 報酬 文集編集委員報酬 68,400円 4名 印刷製本費 599,076円)		
予算額 決算額	予算額 672,000 円	決算額 667,476 円	
担当課 自己評価	心の豊かさを求める文化活動は必要不可欠と考える。美里町合併より続けて発刊されている文集は、心の教育、文化の香り高い町づくりに大きな役割を果たすものと考えられる。また、地域の伝統文化・言い伝え等を文書に残しているが、まだまだ町内には文集に掲載されていない多くの言い伝え・伝統文化等が残っているため、今後も継続して発刊する必要があると思われる。		

(外部評価委員の意見) ・多くの町民の方々の参加が望まれる。維持していくべき内容である。 ・多くの民話・ことわざ・ならわし・方言等色々残っていると思いますのでこれからも広く掲載し、町民一人ひとりが楽しめる文集の発行をしていただきたいと思います。 ・文集作りの努力がうかがえる。また、表紙も一新されて手にとりやすくなったと思う。 ・伝承文化、伝統文化をほりおこし、文集の発行を続けてほしい。 ・この事業は地域を巻き込んだ、新しい文化振興への発展が期待できる。今後、拡充も視野に検討をお願いしたい。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会体育係	第24回 美里町ナイター陸上競技記録会 (委託料)	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。	270,000
2	社会体育係	第30回 中学校野球美里大会 (補助金)	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。(宇城・上益城から14チーム参加)	150,000
3	社会体育係	第12回町民体育祭 (町体育協会予算)	広く町民にスポーツを普及し健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。(球技の部11支部・陸上の部11支部対抗) (9月下旬から各種球技大会。体育の日前日:陸上の部)	522,242
4	社会体育係	第12回美里町駅伝競走大会 (町体育協会予算)	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性ある町づくりに寄与し、併せて都市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施する。(10支部15チーム参加)	300,000
5	社会体育係	第45回 美里町新春霊台橋マラソン大会 (委託料・他)	走ることはすべての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまですべての人に適切な運動である。新春にふさわしく、家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。 (町内参加者:93名・町外参加者:318名 計401名)	210,234
6	社会体育係	第36回宇城中学校新人駅伝大会	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。(宇城管内11校、男子20チーム:女子19チーム参加)	104,000

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第24回美里町ナイター陸上記録会	担当課	教育課 社会体育係
事業目的	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、8月9日(日)・美里町総合公園グラウンドにおいて、トラック競技24種目、フィールド競技3種目に町内外より述べ420名(小学生60名・中学生321名・高校生32名・一般7名)参加した。27年度は、疋田徳先生(熊本工業高校駅伝部監督)を講師に招いて陸上教室を開催した。 ※参加費なし ※予算支出用途(施設使用料・消耗品費・講師謝礼・仮設照明料等) 予算(不足分)については、町陸上競技協会予算より支出。		
予算額 決算額	270,000 円	決算額	271,065 円
担当課 自己評価	小中学生の練習の成果を発揮する場として有効と思われる。 特に、中学生にとっては9月に開催される中体連に向けて、個人の实力を知る恰好の機会であり意識の高揚にも繋がると考えるが、午後の暑い時間帯での開催であるため、熱中症等による体調管理が心配されることから、開始時間等の検討も必要と考える。		

(外部評価委員の意見)

- ・100[㍎]、200[㍎]、400[㍎]、1キロメートル、2キロメートルなどと、日頃から走る距離を明示してあるグラウンドや道路の設置がほしい。維持していくべき内容である。
- ・将来有望な選手の発掘、また親子で楽しむことが出来る記録会になってきている。今後も続けていただきたいと思う。
- ・競技の他に、陸上教室で専門家の実技指導を受けることができる良い機会だと思う。午後からの開催なので、今後暑さ対策も必要。
- ・健康管理、安全管理は、運動をする上での重要な土台であり、この事業への参加者の年齢の幅や参加人数等を考えると、参加者の体力・技量にあった無理のない計画、時間・規模・内容等の検討も必要である。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第30回中学校野球美里大会	担当課	教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町中学校野球実行委員会」に補助金を支出し、9月19・20日(土・日)の2日間、美里町総合公園グラウンド、町営球技場、砥用中学校グラウンドにおいて、中体連後の新人戦として宇城・上益城郡内の中学校から、14チームが参加して行う。 ※参加費 8,000円/チーム(96,000円)は、運営費に充当。 ※予算支出用途(審判料・メダル・消耗品費・審判員弁当代等) ※結果 優勝(鶴城中) 準優勝(嘉島中) ※中央中・砥用中とも初戦敗退。		
予算額 決算額	予算額 150,000 円	決算額 246,000 円	
担当課 自己評価	中体連後、夏休みの練習成果を試す有効な大会と思われる。しかし、出場チーム(数)の関係で大会運営に課題があるため、招待校(数)についてこれまでの経緯等を十分考慮して見直したい。 予算的には参加費(8,000円/1チーム)を徴収しても現額で適正と考える。		

(外部評価委員の意見) ・維持していくべき内容である。 ・近隣中学校との親睦、また競い合いで本人の能力アップ、チームのレベルアップにも繋がってきていると思う。 ・新チームの練習成果を試す大会として今後も継続していただきたい。 ・子どもの特技として、将来的にも生かせるように、この大会は継続してほしい。 ・規模や日程等については、子どもたちの心身の発達から無理のないことが重要で、招待校の検討をされることは意義あるものとする。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第12回町民体育祭	担当課	教育課 社会体育係
事業目的	広く町民にスポーツを普及し健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。		
活動内容	9月16日(水)から10月2日(金)の間、美里町総合公園グラウンド・カントリーパークグラウンド・町営球技場・美里町総合体育館・砥用中体育館において開催した、球技の部(4種目・11支部)に述べ約762人、10月11日(日)美里町総合運動公園グラウンドで開催した陸上の部(11支部参加)に述べ1,573人、合計2,335人が参加した。 ※参加費なし ※予算支出用途(施設使用料・種目協会運営費・消耗品費等) ※結果 球技の部 優勝(三溪支部) 2位(都原支部) 3位(東部支部) 陸上の部 優勝(畝野支部) 2位(浜戸川支部) 3位(都原支部)		
予算額 決算額	予算額 600,000 円	決算額 522,242 円	
担当課 自己評価	事業目的達成のためには意義ある大会であると思われるが、本年度は支部長及び種目協会長を対象に球技の部の開催についてアンケートを調査を行った。その結果ソフトボール、ミニバレーボール種目については縮小して実施したことにより、選手選考の問題解消には繋がったと思われる。今後も支部の再編を含めて種目等の見直しも必要と考える。		

(外部評価委員の意見) ・維持すべき内容である。課題であるチーム編成は早めに結論を出すべきではないと思われる。 ・町民全員を対象とした体育祭としているが、支部によっては、選手選考に苦勞されているところがある。これからも一考していく必要がある。 ・地域が心をひとつにしていきすばらしい事業であるが、各地域の人口減少、少子高齢化等その他にも課題が多く、この事業の課題を明らかにし、具体的方針を明確化するとともに、さらなる内容の見直しを検討していただきたい。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第12回美里町駅伝競走大会	担当課	教育課 社会体育係
事業目的	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性のある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、12月13日(日)町内駅伝コース(14区間・全長27.0km)において、町内10支部より15チームが参加して実施。 ※参加費なし。 ※予算支出用途(区間賞メダル・ゼッケン・役員弁当代等) ※結果 優勝(浜戸川右岸) 2位(畝野支部A) 3位(東部支部)		
予算額 決算額	予算額 310,000 円	決算額 300,000 円	
担当課 自己評価	町民の関心も高く地域の連帯感を醸成するのには効果があると思われる。 また、郡市対抗駅伝大会の選手選考の良い機会と考える。 前回から交通量の増加による事故等の発生を考慮して、コースを変更して開催しているが、今後も中継所の見直しを含め事故防止については十分検討し配慮したい。		

(外部評価委員の意見) ・興味ある競技内容であり、維持を進めたい。 ・支部対抗であり、選手選考が年々難しくなっている。いままでに出場しやすい区間等検討されてきているが、今後も随時再考していく必要がある。 ・国道を走るの、交通事故が一番心配するところ。中継地点の見直しも必要かと思う。 ・突発的な事故を防ぐために事前に十分課題について検討してほしい。 ・コースの変更等、社会の実情に即した計画の立案がされたことは評価できる。さらに安全に関する組織的取り組みの推進をお願いしたい。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第45回美里町新春霊台橋マラソン大会	担当課	教育課 社会体育係
事業目的	走ることは全ての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまで全ての人に適切な運動である。新春にふさわしく家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、1月1日（金）美里町総合運動公園グラウンド発着コース（13種目・男女年齢別）において、町内外より401人（内町内93人）が参加して実施。 ※参加費 高校生以上1,000円/人（*220人=220,000円） 小中学生500円/人（*152人=76,000円） 未就学児（無料）*29人 合計296,000円（前年比55,500円増） ※参加費は、町一般会計に収納。 ※予算支出用途（参加賞・メダル・賞品・ゼッケン・インク・婦人会接待費等。）		
予算額 決算額	予算額 369,000 円	決算額 331,176 円	
担当課 自己評価	町内帰省中の参加者や毎年楽しみにされている町内外からの参加者等もあり町のPRには効果があると思われる。しかし、大会運営上、年末から年始にかけての準備・大会となり、期日の変更等についての声も聞こえるため、関係団体等と協議を行っているが期日の変更は困難と思われる。		

（外部評価委員の意見）

- ・多くの参加者を期待したい。維持される内容と思われる。
- ・町内外を問わず多くの参加者があり、楽しみにしておられる、日程の検討については、主催者にお任せしたいと思う。
- ・長い歴史のある大会なので期日の変更は厳しいかもしれないが、検討課題だと思う。
- ・伝統的なマラソン大会なので、今後も継続してほしい。
- ・事業が形骸化しないよう、さらに地域社会や関係者が相互に緊密に連携・協力し、課題を払拭するような取り組みをお願いしたい。

教育委員会と	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
--------	------------------------------------

平成27年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	第36回宇城中学校新人駅伝大会	担当課	教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と体力増強をめざし各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組みられている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。		
活動内容	2月28日(日)町内駅伝コース(男子・6区間・18km)(女子5区間・12km)において、宇城管内の中学校より男子19チーム(中央中1・砥用中2チーム)、女子19チーム(中央・砥用中各2チーム)が参加して実施。 ※参加費なし。 ※予算支出用途(レプリカ・メダル・ゼッケン・インク・役員弁当代等) ※結果 男子 優勝(鶴城中A) 2位(松橋中A) 3位(小川中A) 女子 優勝(松橋中A) 2位(鶴城中A) 3位(小川中A)		
予算額 決算額	予算額 97,000 円	決算額 104,000 円	
担当課 自己評価	新チームになって冬季の練習の成果を試す良い機会と考える。 安全面については、事故等が発生しないよう十分配慮したい。また、大会開催の経緯等を考慮しながら、大会参加費の徴収についても検討したい。		

(外部評価委員の意見) ・将来も走り続けるためにも、体力、能力の引出し、また競争意識を持たせるため充分注意をして指導しチームのレベルアップにつなげていただきたい。 ・周回コースではあるが、安全面には十分気を付けて開催していただきたい。 ・今後さらに、社会の実情に即した走路の安全面への検討と、新チームの選手育成につながる大会となるよう期待する。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------